

会議議事録

会議名	2024年度 第1回学校関係者評価委員会		学科	
開催日時	令和6年11月19日(火)	18:30~20:20	開催場所	本校 基礎工学実習室
参加者	学校関係者評価委員(50音順) 柿木田健:社会福祉法人広島常光福祉会 理事長 田淵 譲:卒業生代表 前 眞一郎:高等学校代表 米川 晃:学校法人 青葉学園 理事長		※トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 塚広学校長 宅野教務部長・斎木事務課長 各科学科長:河地・杉野・内藤	
議題	1 学校関係者評価について(資料1) 2 2024年度自己評価について ①重点目標について(資料2、3) ②自己点検・評価 改善報告(中間) (資料4、5、6) 3 意見交換		資料1~6 パンフレット 社会貢献活動資料 募集関係資料	

No	議題	内容(決定事項)
1	学校関係者評価について(資料1)	学校関係者評価の進め方として文部科学省が公表したガイドラインの要約を示し、評価のポイントを確認した。
2	2024年度自己点検・評価について(資料2~6)	2024年度重点目標について 重点目標について半期終了までの取り組みを報告した。 ◎印をつけた項目については計画に従い改善に取り組んでいる項目で、資料4として2024年度自己点検・評価改善報告(中間)に詳細をまとめ、各部署より報告をおこなった。
3	意見交換	ご意見・アドバイス ・日本語学科の学生で入国後すぐに行方不明になる学生は最初から日本語を勉強するために入国したのではないかもしれない。信頼できるエージェントを選ぶ必要がある。 ・授業アンケート結果で自主的に自己学習を行っているという結果が悪いクラスは挨拶や掃除もできていない傾向があり、相関があるように思われる。セットで指導するといい。 ・留学生のアンケート項目に挨拶はあるが、掃除とクラスの一員として周囲を考えた行動をするという項目がない。同じにしたほうがいいのではないか。 ・前期終了までのところでは退学率が改善されているので、このまま改善されるならば、重点目標を上段階に引き上げることができるのでは。 ・校長の授業観察は大変難しいが、教員とのコミュニケーションをとりながらすすめるとよい。 ・オープンキャンパスは在校生スタッフを育てることが必要。 ・就職してからのがんばりが次につながり、後輩の就職にもつながる。卒業生が自分の経験を話に来ると入学してくる生徒に憧れを与えたり、色々な道を知りやすい機会になる。 ・パンフレットの募集要項がわかりにくい。入試の種類がありすぎて何を受けたら

No	議 題	内 容(決定事項)
		<p>いいのかわからない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専各連として何かしているか。短大は4年制大学にシフトしていく中で、対抗していくために対策を講じ、広島県に予算を要望していくといいのでは。 ・保育は4年制大学にのみこまれていくが、現場がどちらを求めているかということ子ども達と身体で遊んでくれる若い学生のほうが重宝される。(4年制大学の学生は頭で遊ぶ)。短大の学生は知らなくても伸び率がある。就職して3年経ったら給料も4年制を追い抜く。トリニティカレッジは専門学校としてどういう特色を出していくかが大切。広島県私立幼稚園連盟や広島市私立幼稚園協会などと連携をとっていったらどうか。 ・学生達が忙しそうに感じる。自由度がない。SHR は必要だろうか。 ・SNS をどう利用するか。 ・学費の補助についてももっとアピールをしたほうがいいのでは。返済免除の制度の紹介などをパンフにわかりやすく載せたらどうか。 ・自己点検・評価を詳細に行っているが、これだけのことをするのであれば来年からもっと内容を簡素化してこのエネルギーを別に使ったらどうか。 (選択と集中の検討) ・卒業生の立場から、学生時代はよく遊んだと思う。大学よりも自由だったという自負がある。トリニティの良さが伝わるといい。
		<p>大変貴重なご意見をいただいた。 残り半期、新たにいただいたご意見を活かしながら、引き続き改善計画を実施していく。 2025年3月に2024年度自己点検・評価を完成させるので委員の方に評価していただきたい。 簡素化、シンプルに、取り組んでいく。</p>

会議議事録

会議名	2024年度 第2回学校関係者評価委員会		学科	
開催日時	令和7年3月10日(月)	18:30~20:20	開催場所	本校 基礎工学実習室
参加者	学校関係者評価委員(50音順) 柿木田健:社会福祉法人広島常光福祉会 理事長 田淵 譲:卒業生代表 前 眞一郎:高等学校代表 宮本 照彦:中央内科クリニック 事業運営本部長 米川 晃:学校法人 青葉学園 理事長		※トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 塚広学校長 宅野教務部長・斎木事務課長 各科学科長:吉岡・河地・杉野・内藤	
議題	1 学校関係者評価について(資料1) 2 2024年度自己評価について ①評価項目の達成及び取組状況について(資料2) ②本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画について(資料3,4) 3 2025年度 重点目標について(資料5,6) 4 意見交換		資料1~6	

No	議題	内容(決定事項)
1	学校関係者評価について(資料1)	学校関係者評価の進め方として文部科学省が公表したガイドラインの要約を示し、評価のポイントを確認した。
2	2024年度自己評価について(資料2~4)	2024年度自己評価について 評価項目の達成及び取組状況を評価が変わった項目を中心に報告した。 さらに、本年度に定めた重点目標について、計画に従い改善に取り組んでいる項目について、資料3,4として2024年度自己点検・評価改善報告(中間)に詳細をまとめ、各部署より報告をおこなった。(3/10現在までの報告)
3	2025年度 重点目標について(資料5,6)	2024年度の重点目標から、達成できたものや重点目標からは外せるものを削除し、2025年度の重点目標として提示した。
4	意見交換	ご意見・アドバイス ・最終的に国家資格取得が目標となるが、それまでにもっと短期的な小さい目標を設定し、成功体験を増やしていくといいのではないか。 →次年度カリキュラムから、3年次に行っていた病院実習の一部を1年次に移動する。1年次に勉強した内容をその学年で実習に出て体験することにより、目標の資格に向かって少しずつできるようになっている自分を実感し、モチベーションを上げていくようにしたい。(臨床工学科) ・発達障害の学生への対応は。 →板書ができない学生には写真を撮ることを許可したり、気になる学生へは学校側からアプローチをしている。合理的配慮が必要な学生は、今年度は本人からの申し出はなかった。 ・社会に出て働く障害者に対する理解がまだ不十分であることが、今の世の中の課題だろう。

No	議 題	内 容(決定事項)
		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生と一緒にいる社会貢献活動はいい。人と関わる職業だからコミュニケーション力や相手を思う気持ちを育てることは必要だろう。 ・地域いきいきプロジェクトの活動を外部へもっと発信するとよい。 ・大学センター試験が大学入学共通テストになり、問題も変わってきている。授業の中でも力をつける授業展開が必要になる。 ・今後の重点目標は、少子高齢社会の中、学生の確保が大変でいろいろなタイプの学生が入学してくるだろうが、入学してきた学生を力をつけて就職させることと、学生の確保については具体的な目標を立てて実践していくことだろう。
	<p>大変貴重なご意見をいただいた。</p> <p>現在、授業アンケートと学生アンケートの集計をしており、それがまとまり次第、最終版の自己点検・評価表と改善報告書を作成し、発送する予定。評価シートの提出をお願いした。</p>	

2024 年度 学校関係者評価

<各項目の評価>

評価項目	委員の 評価平均	理由・意見 →意見に対する学校の考えや改善方策
0 重点目標の設定や改善方策は適切か	4.0	・特になし。
1 教育理念・目標の評価や改善策は適切か	4.0	・特になし。
2 学校運営の評価や改善策は適切か	4.0	・特になし。
3 教育活動の評価や改善策は適切か	4.0	・アンケートを基に現状の分析ができています。
4 学修成果・教育成果の評価や改善策は適切か	4.0	・課題を明確にして取り組んでいる。
5 学生支援の評価や改善策は適切か	3.8	・改善の様子がうかがえる。
6 教育環境の評価や改善策は適切か	4.0	・特になし。
7 学生の受入れ募集の評価や改善策は適切か	3.4	・今後の改善方策についてもっと具体的であればよい。 →改善報告書にて具体的に対策を記載する。 ・学生募集が厳しいと思いますが頑張ってください。
8 教育の内部質保証システムの評価や改善策は適切か	4.0	・特になし。
9 財務の評価や改善策は適切か	4.0	・特になし。
10 社会貢献・地域貢献の評価や改善策は適切か	4.0	・特になし。
11 国際交流の評価や改善策は適切か	4.0	・特になし。
<その他>		

<評価基準>

評価	基準
4	適切である。
3	ほぼ適切である。
2	やや不適切である。
1	不適切である。